

銀漢亭日録



伊藤伊那男

2月7日(木)▼発行所、島谷高水さんの「はちどり句会」あと八人店へ。入れ替わりに「十六夜句会」十一人。発行所、受賞祝賀会の打ち合わせ。有難い事。

8日(金)▼三月号校正。発行所、行方克巳先生の慶大OB会の句会。あと十二人店。皆さん受賞を祝って下さる。「週刊金曜日」の伊達さん他。「雛句会」の山本先生。

9日(土)▼十時、高幡不動尊。風花の中。盤水先生の募参り。五重塔下の講堂にて「春耕新年俳句大会」。協会賞受賞の祝福を受ける。午後から親睦会。あと「増田屋」二階で二次会。家族は日光。帰途、仙川駅前で少酌。「一平」という店。なかなか魚がいい。

11日(月)▼建国記念日。何とか、俳句を作らなくてはならないので、九時発。鎌倉方面へ。藤沢から江ノ電で腰越。小動神社。極楽寺から銭洗弁天まで山側の道を歩く。寒い。つつい茶店などで酒。十六時過ぎ帰宅。もう一つ力入らず。

13日(水)▼「梶の葉句会」の島織布さん、銀漢賞受賞を祝うランチ。「揚子江菜館」に招かれる。私の受賞も祝って下さる。あと発行所で選句選評。今井肖子、相沢文子さん。十九時、「白熱句会」(水内慶太、佐怒賀正美、木暮陶句郎、小山徳夫、井上弘美さん)。

14日(木)▼毛染シャンプー肌に合わず、皮膚科へ。あと初めてモスバーガー食す。入沢さんと深川知子さん。「極句会」九人。水内慶太、鈴木忍さんお祝いに来て下さる。清人、慶太、井蛙さんヴークリコ次々に。

15日(金)▼発行所「萬句会」選句。あと九人店。会員の亀田正則さん逝去の報。杉阪さんと句集打ち合わせ。十六時、「春耕」事務局長の

柚口満さん、武田編集長来て、三月五日のパーティー打ち合わせ。皆さんを煩わせている。今日は「俳壇」誌のパーティーであと小島健さん来店し、協会賞の選考委員で終わるまで来られなかったと、祝って下さる。あと山田真砂年、菊田一平、佐怒賀直美、しなだしんさん。

16日(土)▼十時、発行所にて運営委員会。二つの祝賀会、六月の鍛練会の件など。午後、「本部句会」は情報オアシス神田という貸し会議室。あと、テング酒場で親睦会。伊集院静先生から受賞祝いにスコッチのシングルモルトの逸品グレンフィディック21年届く。

17日(日)▼終日家。東京新聞「詩歌への招待」へ七句と短文。四月号のエッセイ二本。角川「俳句」へ協会賞受賞絡みの文章、句集から自選二十句。新作十句の用意。夜、家族にステーキ、焼飯など用意。

18日(月)▼「あ・ん・ど・うクリニック」、郵便局など。店、「演劇人句会」。八人。信州上田から「海原」(海程)の河西志帆さん。三輪初子、阪西敦子、山崎祐子さん。

19日(火)▼藤森壮吉さんの「聞句会」八人。「秋麗」の市川さん(伊那北先輩)受賞のお祝いに寄って下さる。

20日(水)▼店「雛句会」九人。津田卓さんは月末手術予定。「三水会」五人。井蛙さん十七日の引き出物にサンプルの菓子、六、七種類持って来てくれて検討会。

21日(木)▼皆川文弘さん。「銀漢句会」あと麴町から十二人。清人さんから届いた鮪の刺身、鮪のカマ焼など。

22日(金)▼ヘアメイクの中川さん来店。整髪。発行所を使っている「門」同人会(鳥居真里子さん)より祝いの花束。店、伊那北同期で上田市在住の根橋寛さん来店、長野県空手道連盟理事長。水内慶太さん「すし屋の弥助」の鯖、穴子の棒寿司土産に。「金星句会」あと六人。

23日(土)▼日本橋のスタバにて作句。十四時、「鮪の与志喜」にて「纏句会」十四人。あと、穂の芽、落の臺、こごみ、太刀魚の天麩

羅。題にちなんだ鰯の煮付け。焼筍、握り。酒は酔鯨。十七時半、「ビヤホールライオン銀座七丁目店」の五階にて「銀化」同人、「週刊金曜日」の伊達浩さんの結婚式二次会に顔を出す。帰宅して家族と小酌。

24日(日)▼十時半、池袋駅発、レッドアロー号にて西武秩父駅。猪鍋を食べる会。二十八人。常楽寺秩父神社を吟行し、割烹「桂」へ。外部から山崎祐子、太田うさぎさん。五句出し句会をしながら猪鍋。この会参加四回目か。うまい！芹と卵を持ち込んでおじやとうどん。これで終わらず十人程で「高砂ホルモン」。煙に巻かれながら七輪で焼く。帰路も飲みながら……。

26日(火)▼「昼寝の会」の方々、七名句会。「ひまわり句会」あと六名。井蛙さん、環さん達、「井月忌俳句大会」事前投句のまとめ。

27日(水)▼閑散。今井肖子さんと朝日新聞社のサイト「好書好日」担当の加藤千絵さん、「火の会」の取材をしたいと(お笑いコンビ「フルーッポンチ」の村上健志さん)。倉田有希さんと鈴木忍さん打ち合わせ。

28日(木)▼区の検診。バリウム飲み胃の検査。

3月1日(金)▼「大倉句会」あと二十三人。新入会員も。

2日(土)▼十時、運営委員会。十三時、麴町会館にて「銀漢本部句会」四十九人。あと近くの中華料理店にて親睦会十数名。

3日(日)▼同人評、会員評、替星集評、角川「俳句」「俳句aあるふあ」校正など終日家。夜、雛祭の夕食。

4日(月)▼二十日の検診のバリウムが残っていて排便できず。駅の「鳥居内科クリニック」に駆け込み処置して貰う。有難し。下手をすると入院手術の危険もあったと。ヘトヘト。

5日(火)▼「京王プラザホテル」の宴会場「エミネンスホール」にて「俳人協会年次総会」あと十六時から「俳人協会賞授与式」。桃子から花束贈呈してもらう。宮澤、杏子も出席。十七時過ぎからバー

ティー。十九時から四十七階「あけぼの」にて「春耕銀漢合同の祝賀会。あと新宿エルタワーの居酒屋にて名残の会。大勢の方々の祝福を受け嬉しい一日となる。

6日(水)▼「鳥居内科クリニック」。バリウム完全に除去できていると。店「きさらぎ句会」あと五人。「宙句会」あと何と十九人！林正明さんと女検事の富士原志奈さん。志奈さん今年の「星野立子新人賞」受賞と。そこへ羽久衣、北出さん来て、林さんと合わせて羽昨高校三人揃う。愛媛松野町の川嶋健佑さん来店。

7日(木)▼発行所「十六夜句会」あと十三人。それまでの間、屋内松山さんと話。

8日(金)▼本日、結婚記念日。桃子覚えていて仏壇に花。二十五歳の時であったから、四十三年前のこと。妻に感謝するばかりである。三代川次郎さん退院と。店、超閑散。伊達さん夫妻。発行所十七日の祝賀会の打ち合わせに十数名集まってくる。島谷操さんも多忙の中。

9日(土)▼「主婦会館プラザエフ」にて「第六回井月忌の集い」。百十数名参加。あと親睦会。あともう一軒。

10日(日)▼終日家。我部敬子さんの「衣の歳時記」通読し栞八百字書く。夕食、ステーキなど。

11日(月)▼梅田津さんの「つの会」で今日は「然々と」の勉強会をして下さる。十七日の祝賀会の打ち合わせ。店は閑散。

12日(火)▼「火の会」、今日は朝日新聞の本サイト「好書好日」の取材。「フルーッポンチ」の村上健志さんが句会に参加。担当の加藤千絵さんも入り、十六人の句会。群馬の窪田明さん受賞祝いに訪ねて下さる。

13日(水)▼伊勢の河合真如先生、協会賞受賞の祝いに来て下さる。「銀漢」への基金も頂戴する。四月の伊勢の下見。秋の吟行会について相談。芭蕉についての考察など拝聴。客少なく二十時閉める。